



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.41

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2020年9月30日発行

【本号のトピックス】

31回大会(Web開催)最終のご案内／32回大会(Web開催)のご案内／
特任委員会(病院歯科)からのお知らせ／オンラインLive 研修会開催報告／
オンライン歯科衛生士セミナー開催報告／学会だより

第31回学術大会(Web開催)最終のご案内 2020年11月7日(土)、8日(日)

(オンデマンド配信:2020年10月30日(金)17:00～11月9日(月)正午)

日本老年歯科医学会第31回学術大会大会長
同学会理事長
水口俊介
(東京医科歯科大学大学院高齢者歯科学分野)

学会設立30周年記念大会(第31回学術大会)は、今までの学術大会とは違います!! いつでも、どこでも大会に参加できるのです。

10月30日(金)17:00から11月9日(月)正午の間、多くのシンポジウムや講演がオンデマンド配信されます!(すべてではありませんのでご注意ください!ライブ配信もあります!)自宅でも勤務先でも留学先でも視聴可能です。交通費も宿泊費もかかりません。介護や育児、家事で家を空けられない。でもリビングで両立してしましましょう。こんなバリアフリーな学術大会は今回限定です!?(今回だけであってほしいような気もしますが…)

認定医、摂食機能療法専門歯科医師、優秀ポスター、課題口演はライブで審査を行います。認定医および摂食機能療法専門歯科医師、優秀ポスターはすべてWeb上に掲載いたします。課題口演はpdfの掲載はなく、当日のスライド発表のみとなります。これらの発表については審査ですので視聴者からの質疑はありません。

各発表への質問は一定の期間中にgoogle formで受ける予定です。11月7日、8日の質疑(ライブ配信)の前までにオンデマンド動画をぜひご視聴ください。事前に受けた質問を踏まえて大会当日の質疑を行う予定ですのでぜひ積極的にご質問ください。

オンデマンドを含めて演者の方々には通常の開催形態よりも、より個人情報に留意してポスターやスライドをお作りいただきます。また視聴者の皆様、発表者の著作権保護には必ずご協力ください。

健康長寿を支える老年歯科の誇りと決意

2020年11月7日(土)・8日(日)

30th

学会設立30周年記念大会
2020



大会HPへのQRコード

第32回日本老年歯科医学会学術大会(第32回日本老年学会総会 併催)のご案内 「人生100年時代に老年歯科ができること」

2021年6月11日(金)～13日(日)

！ Web 開催！ 自宅,出張先,仕事先,留学先「ど・こ・か・ら・で・も」

大会長 河相安彦

(日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座)

本来であれば、学会設立 30 周年記念大会(第 31 回学術大会)が終了し「熱気のある素晴らしい学術大会の開催ありがとうございました!」と、水口俊介大会長を労う文面から書き出すところですが、COVID-19 禍のなか、本来6月開催の予定であった「第 31 回学術大会」は 11 月に延期となり、今まさに完全 Web 開催の準備が、大会校を中心に粛々と進められているところです。そのなかで、来年の大会の話を持ち出さなければならないこととなりました。これも、ウイズコロナなのか? それとも今年だけなのか? いずれにしても、1 日も早い終息を願うばかりです。

第 32 回の学術大会は、2021 年 6 月 11 日(金)～13 日(日)、第 32 回日本老年学会総会の分科会として開催されます。当初は、おなじみの名古屋国際会議場で開催予定でしたが、先の老年学会全体会議で、「基本的」に Web 開催の方向で各分科会の一致をみました。「基本的」にとは、一部の分科会ではハイブリッド型も模索をしているからです。いずれの形態をとろうとも、2 年に一度の老年分科会 6 学会による学会を楽しみにしていただければと思います。今までの会期では網羅することができなかった多様な講演や演題を、ご自宅、出張先、仕事先、留学先「ど・こ・か・ら・で・も」PC,スマホ,タブレットとネット環境があればアクセスできます。

なんと素晴らしいことでしょう!

学術大会テーマを「人生 100 年時代に老年歯科ができること」とさせていただきます。その意図は、臨床・研究のアウトカムを「人生 100 年時代」に設定し、歯科が「できていること」「できていないこと」「できること」「や

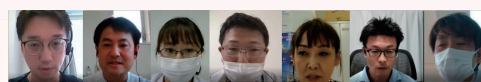
らなければならないこと」をワンチーム(アカデミア・臨床家・多職種・行政等)で整理して、高齢者の幸せにつながるロードマップの礎ができればという思いからです。それにより、老年学会総会のテーマである「成熟社会への課題 ～高齢者は幸せになったか～」について、老年学会学術大会大会長の井口昭久先生から「現代の老人は幸せになったか」という点について議論を深めていただきたいという宿題への解を導ければと思っています。どうぞ多様な職種の皆様の誇りと決意を胸にご参加いただくことを歓迎いたします。よろしくお願い申し上げます!



特任委員会(病院歯科)からのお知らせ

委員長 大野友久

今期より本学会内に特任委員会(病院歯科)を発足させていただきました。急性期や回復期、維持期や慢性期、終末期医療など病院がもつ特徴はさまざまですが、それぞれの病院で老年歯科医学の専門性が必要とされています。今後もしばらく高齢社会は進展しますので、その必要性はさらに増すものと思われます。本委員会では、高齢者歯科に対応している病院歯科についての調査や情報発信などを行い、病院歯科活動活発化の助けとし、最終的には地域社会に貢献したいと考えております。学会員の皆様には、調査にご協力いただくこともあるかと存じますが、何卒ご協力の程、よろしくお願いいたします。



本委員会の目標



老年歯科医学の発展



高齢者対応型
病院歯科活動の活発化

Department of Dentistry, Hamamatsu City Rehabilitation Hospital

オンライン会議の一場面

オンライン Live 研修会(第1弾・第2弾)開催報告

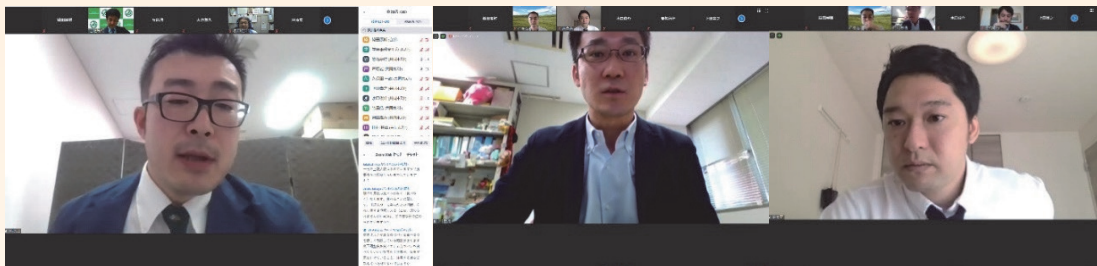
研修委員会委員長 竹島 浩
同委員・幹事 田村暢章

この度、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け、集合型の学会研修活動が困難な状況にあるなかで、参加者の安全と感染拡大の状況を鑑み慎重に検討を進めてまいりました。その結果、水口俊介理事長ならびに執行部の提案により本学会会員へのサービス向上を図る対応として、Webセミナーを計画しました。今回は「日本老年歯科医学会オンライン Live 研修会～今こそ自宅で学ぼう～」と題して、研修委員会(委員長・竹島 浩先生)主管のもと、執行部企画で2日間にわたり開催されました。まず第1弾は、2020年7月31日(金)20:00～21:00に行われ、水口俊介理事長のご挨拶の後、「これでわかる!ミールラウンド」をテーマに戸原 雄先生(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)にご講演いただきました(司会:竹島 浩先生、座長:岩佐康行先生)。

続いて8月2日(日)9:00～10:30は第2弾として、「摂食嚥下の新しい知見とオンライン診療の可能性」をテーマに、中川量晴先生(東京医科歯科大学大学院医歯学総

合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)、原 豪志先生(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)にご講演いただきました(司会:岩佐康行先生、座長:戸原 玄先生)。Live 研修会は今回が初の試みでもあり、研修委員会のなかでも不安がありましたが、執行部、研修委員会の先生方、学会事務局の協力を得て予定どおり行われました。学会員限定の事前登録制でありましたが、集合型に比較して手軽な出席方式ということもあり Live 研修会中での最大出席者数は400名と大盛況でした。また限られた時間ではありましたが、Zoomでのチャットを用いた質疑でも多くの出席者から質問があり、活発な意見交換が交わされました。また今回のオンライン Live 研修会を終えて気付いた細かな点について、研修会終了後に次回からの課題克服に向けた反省会を開催しました。

今後も研修委員会および各委員会から研修会を企画し、本学会オンライン Live 研修会をより良いものとして提供できるよう努力して参ります。



各先生方の質疑応答の様子(左から、戸原先生、中川先生、原先生)

オンライン歯科衛生士セミナー開催報告

歯科衛生士関連委員会 小原由紀

2020年9月27日(日)にオンラインにて、歯科衛生士セミナー「高齢者に安全な口腔健康管理を提供するための知識と対応」を開催しました。片倉 朗先生(東京歯科大学口腔病態外科学講座教授)より、加齢による心身機能の低下やバイタルサインの把握といった高齢者や要介護高齢者に安全な口腔健康管理を行ううえで歯科衛生士として知っておくべき基本的な知識だけでなく、臨床での観察ポイントや服薬状況の確認といった具体的な臨床での対応方法や留意点についてご講義いただきました。また、COVID-19の具体的な感染対策についてもご講義いただきました。

当日は、歯科衛生士のみならず歯科医師の参加もあり、参加者251名と大盛況となりました。当初このセミナーは実習を交えた開催方式を検討していましたが、学会員が自宅で、職場で、それぞれのスタイルで受講できる昨

今のニーズに合ったオンラインセミナーとなりました。



セミナーの様子

学会だより

書籍紹介

本学会がこれまでに監修した書籍の一部をご紹介します。

『2020年保険改定
対応 かかりつけ
歯科医のための口
腔機能低下症入門』



口腔機能低下症という新しい病名が保険導入されて2年が経過しました。当初、評価や診療は試行錯誤でした。最近はある程度システム化されてきましたが、問題点も可視化されてきました。本書は口腔機能低下症の診断から管理、保険算定の仕方までが網羅されています。特に診断基準に関して基準値の設定根拠がしっかりと説明されており、低値の原因や対応などわかりやすく書かれています。診断方法の手順に関しても注意点を交えながらしっかり説明されています。低栄養での診断基準では血液検査データによらないものが現在の主流であることが明記されました。後半では実例を交えた対応の仕方や、実際現場で指導を行った効果が説明されており、高齢者を支えるための歯科介入の重要性を再認識できる本です。

(織田展輔)

『訪問診療での歯科
臨床 在宅歯科医療
をさらに高める
Clinical Questions
と Questions &
Answers』



要介護高齢者の多くは歯科的な問題を抱えているにも関わらず、外来での歯科受診は70~74歳をピークに、その後急速に減少する実態があるなか、今後、訪問歯科診療の需要は高まっていくことが予想されます。本書は、本

年7月に発行された最新本で、歯科が訪問診療に関わるなかでの臨床の疑問 (Clinical Question) に対して、可及的エビデンスに基づき、訪問歯科診療のベーシックな一般診療から専門分野 (摂食嚥下・インプラントなど) の治療、人生の終焉期であるターミナルケア、歯科衛生士の訪問診療介入について詳細に解説されています。また、新型コロナウイルスの蔓延から今後見込まれるICTを用いたオンライン診療など、多岐にわたる内容も記載されており、まさに訪問歯科診療のバイブルとなる1冊です。

(貴島真佐子)

IAGG アジア / オセアニア国際老年学会議横浜 開催決定！



2023年6月12~15日に横浜 (パシフィコ横浜ノース) で IAGG アジア / オセアニア国際老年学会議が開催されることになりました。

最長寿国としてアジアオセアニア地域の人たちとともに高齢化に関連するさまざまな諸問題の解決策について知恵を絞り、高齢者医療・介護・福祉に対する日本の最新の取り組みを発信していきたいと思ひます。国際老年学会議の後には第33回日本老年学会も開催されますので、皆様ふるってご参加ください。

編集後記

いよいよ、初のWeb開催となる第31回学術大会が開催されます。今号では、「おうちで学ぼう」をキーワードに開催された2件の研修会の内容をお届けします。「おうちで学ぼう」といえば、書籍に目を通すのはいかがでしょう! 学会監修書籍の書評も掲載しました。学会Twitterではフレイル、オーラルフレイル関連論文もつぶやいています。ぜひ@ronen_shikaのフォローも併せて「おうちで学ぼう」じゃありませんか。(河相安彦)

発行人 水口俊介
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341
E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp